

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2	対象	1学年
担当者	正路・佐々木・櫻井						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
教科書:新言語文化(三省堂) 新版三訂カラー版新国語便覧(第一学習社) 新言語文化学習課題ノート(三省堂)			教科書:新言語文化(三省堂) 新版三訂カラー版新国語便覧(第一学習社) 新言語文化学習課題ノート(三省堂)			60	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	古典を味わうための基礎知識を身につける① ・1『枕草子』『ありがたきもの』 (清少納言)		・学習の進め方について理解し、学習習慣を確立する。 ・50音図や歴史的仮名遣いといった、古文を読むうえでの基礎知識を身につける。			20
	5	古典を味わうための基礎知識を身につける① ・1『枕草子』『ありがたきもの』 (清少納言)		・古文を読解し、歴史的仮名遣い等の復習を行う。また、基本的な古語などについて学ぶ。 (1学期中間考査)			
	6	物語の展開を把握する ・2『羅生門』(芥川龍之介)		・文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。			
	7	物語の展開を把握する ・2『羅生門』(芥川龍之介)		・授業で扱った作品だけでなく、関連する作品にも触れ、文学に対して興味関心を高める。 (1学期期末考査)			
2 学 期	9	古典を味わうための基礎知識を身につける② ・活用とは ・古典動詞の活用の種類及び活用形		・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解する。			27
	10	・活用の種類について学ぶ ・伊勢物語「芥川」の読解 2学期中間考査		・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解する。 (2学期中間考査)			
	11	古典を味わうための基礎知識を身につける ・古典形容詞、形容動詞の活用の種類及び活用形		・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解する。			
	12	物語を批評的に捉える ・「なめとこ山の熊」(宮沢賢治)		・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 (2学期期末考査)			
3 学 期	1	漢文を味わうための基礎知識を身につける ・訓読の基本		・漢文の基礎を学ぶ。 ・返り点や再読文字など、漢文を読むうえで必要な知識・技能を身に付ける。			13
	2	慣用的な表現を捉える ・「虎の威を借る」		・文章を音読し、大意を捉える。 ・比喩が何を示したもののなかを読み取る。			
	3	1年間のまとめ ・百人一首を使ってのかかるた競技 ・レポート作成・発表 (ICT端末の活用)		・日本の文化が現在の日本の基礎になっていることを知る。また、古典に対する興味や関心を高める。 (学期末考査)			
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		・古典の世界や古典作品を、歴史的・文化的背景まで含めて理解し、現代社会や他国文化を理解する際に活用できるようになる。				・授業での学習活動、課題、小テスト、各定期考査への取り組み状況を総合的に評価する。	
思考・判断・表現		・古典作品のテーマや内容を的確に読み取って解釈したうえで、作品に対する自分の意見を他者に筋道立てて伝えることができるようになる。				・授業での学習活動、課題、小テスト、各定期考査への取り組み状況を総合的に評価する。	
主体的に学習に取り組む態度		・言語文化の授業の中で得た様々な情報を活用したり他者と協力したりすることによって、自己の課題を改善することができる。				・授業での学習活動、課題、小テスト、各定期考査への取り組み状況を総合的に評価する。	